

独立系、未公開資産を直販

富裕層向け投信 売掛債権に投資

独立系運用会社のベイビュー・アセット・マネジメント（東京・千代田）は22日、投資信託の直販事業を始めた。貿易時の売掛債権に投資する公募投信を販売する。プライベートアセット（未公開資産）を直販する事例は珍しい。

ベイビューは1兆円強の運用資産を持つ。2月には年金積立金管理運用

独立行政法人（GPIF）から運用を受託した。機関投資家との取引が多く、個人向けは少ない。

フィンテック企業のスマートプラス（東京・千代田）から金融商品の販売に関するシステム基盤の提供を受け、オンラインで販売する。最低投資額は100万円で、富裕層が主な対象となる。購入や換金は月に1回

受け付け、解約が集中した時は換金制限をかける。

今回のファンドでは、アジアの中小企業などが日米欧の投資適格企業に對して有する輸出品の短期売掛債権をファクタリング（売掛債権買い取り）会社を通じて買い取る取引が中心だという。

本資料は、株式会社日本経済新聞社の許諾を得て、ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、特定の取引や商品あるいは有価証券の勧誘ないし推奨を目的としたものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第397号